

報告

おれんじキャンペーンふじさわ2020

本市は、**認知症になっても安心して暮らせるまちづくり**をめざしています。9月の「世界アルツハイマー月間」に合わせ、ブックフェア、パネル展など認知症について理解を深める様々なイベントを行いました。



ブックフェア「認知症本人とともに」

初めて市内図書館や大型書店のご協力により、認知症ブックフェアを開催しました。専門書だけでなく、認知症本人・家族の著書や絵本など様々なジャンルから多数取り揃えていただきました。本市で発行している認知症ガイドブックや相談窓口紹介など介護や生活に役立つパンフレットなども一緒に紹介しました。



総合市民図書館



南市民図書館



辻堂市民図書館



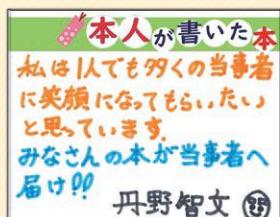
湘南大庭市民図書館

「認知症の本人が書いた本」を全国に広げようプロジェクトを実施している日本認知症本人ワーキンググループより著者直筆のPOPを届けていただきました。認知症と診断された本人が、「専門家」では語ることでできないメッセージを著書の中で発信しています。

認知症本人書籍
はとても人気
あったキュン



ふじキュン♡



湘南蔦屋書店



ジュンク堂書店藤沢店



有隣堂藤沢店

※ブックフェアは終了しました

パネル展「知っていますか? 認知症」&「避難所での支援ガイド」

8月28日(金)～9月9日(水)、認知症関連事業の紹介とともに、災害時における、認知症ご本人や家族の方の日ごろの備えや、周囲の人の理解についてのパネル展を市役所1階ラウンジで行いました。

パネル展に来てみたキュン♡



藤沢市の認知症事業についても展示されてるキュン♡

防災安全部も要配慮者用のスペースとして、避難所で実際に使われるパーティションを展示していたキュン♡

ふじキュン♡



ふじキュン♡

認知症の人と家族の避難所生活 ～周囲の理解でみんな安心!～

★避難所で認知症の人が過ごせる条件

- ①位 周囲の人の理解があった
- ②位 なじみの人や家族が近くにいた
- ③位 介護者を支援する人がいた
- ④位 常に見守れる協力体制があった
- ⑤位 日課や役割等を作った

「一般社団法人 日本認知症ケア学会 認知症の人と家族のための避難所での支援ガイド」より

認知症は環境の変化に対応しづらい病気です。周囲の人が配慮することで過ごしやすくなるのがわかります。



★日ごろからの備えが大切!

いざという時のために、まずは、日ごろから「非常持出品」や「防災備蓄品」を用意しておきましょう。また、感染症対策のためマスク・手袋・消毒液・体温計等も用意しておきましょう。

自宅が無事な場合には、「在宅避難」ができるよう、日ごろから家具の転倒防止対策や感震ブレーカーの設置等に努めましょう。



参考文献のご紹介

『認知症の人と家族のための避難所での支援ガイド』

(発行: 一般社団法人 日本認知症ケア学会)
地域包括ケアシステム推進室でもお渡ししております。

パンフレットの問い合わせ先

一般社団法人 日本認知症ケア学会
☎03-5206-7431
<http://www.chihoucare.org/>

